



## 「みどりのフィールドコンサート」で陸・海・空自衛隊を満喫

自衛隊東京地方協力本部立川出張所（所長 星2陸尉）は4月29日、立川市に所在する国営昭和記念公園ふれあい広場において、みどりのフィールドコンサートに併せ、装備品展示等を実施した。

みどりのフィールドコンサートは、航空自衛隊航空中央音楽隊（府中基地）の恒例のイベントで、演奏が始まると、あちこちで「あっ、この曲知ってる！」という声があがり、中には口ずさむ子供たちも居て、音楽に誘われた観客で広場は瞬く間にいっぱいとなった。

また、横須賀基地からは、職種や艦艇の模型展示、体験試着、南極の水展示を実施し広場を盛り上げた。青空を背景に、白い海上自衛官のミニ制服を試し、記念撮影する家族連れが多く見られるなど大盛況となった。

さらに、立川出張所は、中型トラックの車両展示にVR体験等のブースを開設した。車両展示の行列には「車、大好きなんです。レンジャーもテレビで見てください。これから宣言しているんですよ。」と広報官との記念撮影を希望する家族もいるなど、関心を集めるとともに、VR体験では、動画を全部見たい！と何度も行列に並び家族連れもあり、大変好評だった。

来場者からは「陸、海、空3自衛隊が一度に楽しめるなんて、なんて豪華なイベントなの！」という声が聞かれた。

立川出張所では、地域のイベントの場も活用しながら、自衛隊の魅力発信を継続し募集業務に邁進している。



## 「東京みなと祭」で広報活動を実施

自衛隊東京地方協力本部（本部長 山下陸将補）は5月20日及び21日、江東区に所在する東京国際クルーズターミナルにおいて開催された「第74回東京みなと祭」へ参加し、試験艦「あすか」（艦長 渡邊秀幸2海佐）の一般公開と連携して広報ブースを出展した。

本イベントは、東京港が国際貿易港として開港したことを記念して行われているイベントで、今回は2日間で、約2万5千人が訪れた。

「あすか」の一般公開には両日とも長蛇の列ができ、約6千名が乗艦するなど大入りで楽しんでいるようだった。

東京地本は、「あすか」が公開されている岸壁と、ターミナル内の2カ所に広報ブースを設置して広報活動を実施した。岸壁では自衛隊に関するアンケートや制服の試着等を行い、子供たちがミニ制服を着て記念撮影をするなど賑わいをみせた。ターミナル内ではアンケート抽選会とVR体験を行い、抽選券を握りしめた家族連れなど多数の来場者が訪れ、抽選結果に一喜一憂したり、VRの動画を見て親子で盛り上がりたりと大盛況であった。

東京地本は、今後も自衛隊への理解を深めるべく、魅力ある広報活動を実施していくとしている。

